

● Photo sketch ●



9/3 スポーツで交流を深めよう！

土岐市と焼津市がスポーツ姉妹都市協定を締結して、今年で40周年を迎えました。
市内各所では、インディアカ、バドミントン、卓球、グラウンドゴルフ、マレットゴルフの5種類のスポーツ交流が行われ、総勢約350人の参加者で会場は笑顔と熱気に包まれていました。
参加したチームの方は「毎年参加しているが、この日だけに限らず年々交流が深まっている。これからも続けていきたい」と爽やかな汗を流しながら話してくれました。



9/3 17 第63回 市民総合体育大会夏季大会

市民総合体育大会夏季大会のカヌー競技が3日・土岐川で、水泳競技が17日・コマスイミングスクール土岐で開催され、各町の代表選手約110人が熱戦を繰り広げました。上位の結果は次のとおりです。
<カヌー>①肥田町 ②妻木町 ③泉町
<水泳>①泉町 ②駄知町 ③曾木町



9/5 祝！108歳 林さん土岐市最高齢

土岐市で最高齢となる108歳を迎えた林おかざさん(妻木町)を祝うため、市長が林さんの入所する施設を訪問しました。
林さんは、明治42年(1909年)生まれ。9人の子もを育て、22人の孫、38人のひ孫、3人の玄孫(やしやご)がいるとのこと。施設の職員によれば、好き嫌いはなく三食きれいに食べ、家族や友人に手紙を書いたりして過ごすこともあるそうです。林さんは、「施設の皆さんには大変お世話になっている。今日は市長さんをはじめ私のためにたくさんの方がお祝いしてくれてありがとう」と笑顔で話してくれました。



9/9 自然の中で思いっきり遊んだよ

第38回陶史の森まつりが開催され、多くの親子連れが自然体験を楽しみました。同まつりでは、自宅の庭などに植えてもらうため、曾木公園のモミジの苗木が配布されたほか、丸太切り体験や木工教室、ちびっこ相撲大会などのさまざまな催しが行われました。
子どもたちは、中学生ボランティアに教えてもらいながら工作に取り組んだり、真剣勝負の相撲大会で汗を流したりなど、自然の中での遊びを満喫しました。

9/15 10/22 国際陶磁器 フェスティバル美濃'17



今回で11回目を迎えた「国際陶磁器フェスティバル美濃'17」。同フェスの名誉総裁を務められる秋篠宮家の長女眞子さまがご臨席され、華々しく開幕しました。今回のテーマは「セラミックバレー」。やきものと言えば誰もが「美濃」「MINO」と思い浮かべる世界一の市場を目指して行われています。
メインイベントとなる「国際陶磁器展美濃」では、60の国と地域から2,466点の陶磁器作品の応募があり、141点の入賞・入選作品をセラミックパークMINOの展示ホールに展示。また、ミシュラン一つ星を獲得した料理人監修の下、地元食材を使った和食を地元窯元的美濃焼で提供する「和食と美濃焼」、障がい者の純粋な心の表現をやきものや画を通して表現する「アール・ブリュット展」のほか、タイルコースター作成などの子ども向けイベントも充実しています。世界最大級の陶磁器祭典、3年に一度のこの機会にぜひお出掛けください。

詳しくは [陶磁器フェス](#) [検索](#) をクリック



8/27 肌で感じる日本の文化

日中国交正常化45周年を記念した国際交流会が文化プラザで開かれ、市内の中国人やベトナム人などの外国人のほか、日本人ボランティアなど計50人が参加しました。
着付けを手伝ってもらい浴衣姿で会場入りした外国人らは、まず始めに愛好者らによる尺八の演奏を堪能。続いて催された茶会では、自ら抹茶をたてる体験をしました。見聞ではなく、「五感全て」で感じる日本の文化。「和の心」は国籍を越え、確かに伝わっているようでした。



9/2 手作りの地域づくり

妻木町で陶製灯籠の野焼きが行われました。これは妻木陶磁器工業協同組合が、同町の八幡神社の例祭前夜祭にあたる宵祭りで、「参道に明かりをともそう」「この行事を通じ町民同士の交流につなげよう」と15年前から始めた事です。
この日用意された野焼き窯は10基。参加者は、会社のグループや家族連れなどで約50個の灯籠を4時間程掛けて焼きました。焼成の間にはバーベキューも楽しみながら、燃え上がる炎に笑顔でまきをくべていました。